



1. 令和2年度SDGsに関する万国津梁会議経過

- 令和2年7月3日 第1回会議
- 令和2年7月21日 第2回会議
- 令和2年8月17日 第3回会議
- 令和2年8月26日 第4回会議
- 令和2年8月26日 第1回ステークホルダー会議
- 令和2年9月7日 知事へ中間報告



2. 委員名簿（五十音順）

- 蟹江 憲史（慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授）
- 佐喜真 裕（沖縄銀行 執行役員総合企画部長）
- 佐野 景子（国際協力機構沖縄センター 所長）
- 島袋 純（琉球大学 教育学部 教授）
- 玉城 直美（沖縄キリスト教学院大学
英語コミュニケーション学科 准教授）
- 平本督太郎（金沢工業大学情報フロンティア学部経営情報学科
准教授 SDGs推進センター長）

3. 中間報告（2）の概要

（1）沖縄におけるSDGs推進の意義

行政機関が計画し実施する事業等にとどまらず、県民一人ひとりが意識をもって行動することが求められる。

（2）基本理念

平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合い誰一人取り残さない、持続可能な「美ら島」おきなわの実現

※この基本理念は、残すべき、あるいは残したい「沖縄らしさ」と変えていくべき「沖縄らしさ」の双方を含有している。

（3）優先課題（12分野）※別紙のとおり

（4）今後の推進体制 →今後、議論することとしている

4. 令和2年度の予定について

- 令和2年12月末を目処に最終提言書を取りまとめる予定。

【別紙】優先課題 1 2 項目

(People 人間)

- ①違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現（多様性の尊重、個人の尊厳）
- ②医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし
- ③地域への誇りと夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実

(Prosperity 繁栄)

- ④基幹産業として持続可能で責任ある観光（サステナブル／レスポンスブルツーリズム）の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興（農林水産業におけるブランド化等）、県経済の基盤となる安定的な雇用
- ⑤日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点
- ⑥気候変動に適応する強靱なインフラと交通網の整備

(Planet 地球)

- ⑦多様な生物・生態系や自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル

(Peace 平和)

- ⑧基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信

- ⑨共助・共創型の安全・安心な社会の実現

(Partnership パートナーシップ)

- ⑩ユイマール（相互扶助）の継承、人の和・地域の和
- ⑪地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携
- ⑫世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバルパートナーシップ